

# NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 1 LESSON 5 授業例①

M.A. 先生

## 指導計画表

(全6時間)

時間	学習内容・主な活動
1	1. Who ~ ?の導入と理解 2. 本文理解・音読練習 3. アレンジ暗唱
2	1. 前時の復習 2. Word Corner 3. Reading 音読の復習・アレンジ暗唱の発表
3	1. Where do you ~ ? When do you ~ ?の導入と理解 2. 本文理解 3. 音読練習 4. アレンジ暗唱
4	1. 前時の復習 2. Word Corner 3. picture describing activity
5	1. This is my brother. I like him. の導入と理解 2. 本文理解 3. 音読練習 4. アレンジ暗唱
6	1. 前時の復習 2. Reading 音読の復習・アレンジ暗唱の発表 3. Word Corner p.59

## 実践例

### 1. GET 1 p.54

#### 1 時間目

本時のねらい：

～はだれですか。(Who～?)を使って相手にたずねたり、答えたりできる。

#### 1. Who～?の導入と理解(音声から入る)

導入の部分では、聞く活動の方が生徒間の学力差による理解のギャップが少ないため、なるべく生徒と英語でやりとりをしながら音声中心の導入を心がける。音声による導入の方がより多くの生徒が理解についてこられるため有効である。

①生徒があまり知らないようなアイドルやアニメキャラクターなどのピクチャーカードを用意する。絵や写真の全てを見せるのではなく一部やシロエットを見せて、教師が生徒にたずねる。

T: He is a handsome teacher.

Do you know him?

S: Is he Mr ( )?

T: No, he isn't. He rides a motorcycle.

※ Who is he?

S: Oh, He is Mr ( ).

T: That's right.

上記のやりとりを3～4回行い、「～はだれですか?」という表現の部分(※)を英語で聞き取らせる。

②校内の先生方の若い時の写真や生徒が知らないようなアイドルやアニメキャラクターやスーパーヒーローのピクチャーカードを用いて、答えが分からないときにWho is～?を使わせる。

③たずね方と答え方の基本パターンを板書する。

④p.54のDrillを通して単純な口頭練習を行う。

(例) T: 「この少年はだれですか」を英語で…

S: Who is this boy?

T: 合っているか確認してみましょう。

CD: Who is this boy?

#### 2. 本文理解・音読練習

理解の鍵となるキーセンテンスを黒板に表示し、聞き取りのポイントを明確にするためにその意味を確認する。

T: Who is that boy? 意味は?

S: 「あちらの少年はだれですか」

T: Where is he from? 意味は?

S: 「かれはどこ出身ですか」

T: メイリンが学校でみかけた男の子はだれでしょうか。聞いてみましょう。

答えとなるRaj, Mumbai, Indiaが出たところで新出語句の提示をフラッシュカードで行う。フラッシュカードで口頭練習を行った後、India, Mumbaiをピクチャーカードで紹介する。音読を通して本文の内容理解のまとめを行いたいので音読の合間に短時間(約5分以内)の和訳作業を織り込む。

音読練習では①Chorus Reading ②Read & Look up ③Role reading (Meiling / Mr Oka, 教師と生徒がそれぞれのパートを読む)を通して、通算3回～4回音読させる。そして空欄を設けた和訳のプリントを完成させ、理解のまとめをさせる。その後④Overlapping (テキストを見てCDと同時に読む) ⑤Shadowingなど発展した音読にも取り組む。

#### 3. アレンジ暗唱

ペアで本文をアレンジして暗唱させ、本文の暗唱・音読を宿題として次時に発表させる。

A: Hello, ( B ). How are you?

B: Fine, thank you.

A: Who is that boy[girl]?

B: He(She)'s a new classmate[teacher], ( ).

A: ( ). Where is he[she] from?

B: He[she]'s from ( ).

#### 2 時間目

##### 1. 前時の復習

①学校の先生の幼少期・学生時代の写真を提供してもらい”Who is this boy(girl)?”, “He (She) is ~.”の活動を行う。

②Practice: Listen (教科書p.55)

## 4. Word Corner

フラッシュカードを用いて口頭練習し、③×③もしくはp.54の新出単語も含めて④×④のビンゴゲームをする。3. Reading 音読の復習・アレンジ暗唱の発表。

Chorus Readingなどの音読練習をした後、ペアごとにアレンジ暗唱を発表させる。生徒全員に次時までの宿題を配布しておく。

## 2. GET 2 p.56

## 1 時間目

本時のねらい：

Where do you ~? When do you ~? を使って相手にたずねたり、答えたりできる。

## 1. Where do you ~? When do you ~? の

導入と理解（音声から入る）

①お気に入りのスポーツ（趣味）を本時のトピックとして、あらかじめ録音しておいた同じ学校の先生（ALTでもよい）へのインタビューを聞かせる。

JTE: What is your favorite sport, ~先生？

先生: It's soccer. ※1

JTE: Where do you play it?

先生: I play it at school. ※2

JTE: When do you play it?

先生: I play it on Monday to Saturday. ※3

JTE: Thank you.

※1~3を板書（提示）しておきその質問に注意を喚起して聞かせる。

②Drill Listen を聞いて意味を理解させる。教科書やピクチャーカードは見せない。

③Drill Speak でピクチャーカードもしくは教科書 p.56 を見て「あなたはどこでテニスをしますか」を英語で言わせる。

## 2. 本文理解

上記1.で基本対話を理解できているので、大まかな本文の理解は可能なはずである。黒板に書かれていない言葉が聞き取れたら意味は分からなくても教えるように、生徒には言っている。生徒から Kabaddi, near the river がでてきたところでフラッシュカードを用いて新出語句の提示・練習をする。

本文の理解は空欄がいくつか入った和訳プリントをグループのメンバーと協力して短時間で完成させる。その際、複数形の Sundays に注意させる。

## 3. 音読練習

①Chorus Reading ②Read & Look up③Role reading ( Kumi / Raj のパートを教師と生徒それぞれ1回ずつ) ④Overlapping (テキストを見てCDと同時に読む) ⑤Shadowing など発展した音読にも取り組む。

## 4. アレンジ暗唱

ペアで本文をアレンジして暗唱させ、本文の暗唱・音読を宿題として次時に発表させる。

A: What is your favorite sport ?

B: It's ( ).

A: Where do you play it ?

B: I play it at[near] ( ).

A: When do you play it ?

B: On ( ). Come and play. It's fun(exciting).

## 5. Word Corner

序数をフラッシュカード等で提示し口頭練習する。日にちは日数ではなく○番目の日だから序数を使うことを学ばせる（気づかせる）。ワークシートかノートに自分の誕生日を英語で記入させる。

（例）When is your birthday? It's November third.

## 2 時間目

## 1. 前時の復習

①誕生日をたずね合おう。

前時の Birthday をお互い英語で尋ねて答える活動をする。ペア（グループ）で取り組む。クラスの中で一人ずつ発表し、つなぐのもよい。

A: When is your birthday, B さん?

B: It's January eleventh.

When is your birthday, C さん?

②Practice : Listen (教科書 p.57)

## 2. Reading 音読の復習・アレンジ暗唱の発表。

Chorus Readingなどの音読練習をした後、ペアごとにアレンジ暗唱を発表させる。生徒全員に次時までの宿題を配布しておく。

3. picture describing activity

p.56 のピクチャーチャートを見て、分かることを英語ですべて発表させる。教科書本文の理解 (input) を表現(output)に変える Reproduction の訓練となる。

(例) Kumi is asking about sport.

They are playing kabaddi. Raj is answering.  
They play it near the river. They play it on Sundays.

Kabaddi is very popular in India. など

3. GET3 p.58

1 時間目

本時のねらい：

目的語で使われる代名詞 him / her を理解し、使用できるようになる。

1. This is my brother. I like him. の導入と理解

(音声から入る)

①有名人のピクチャーカードを用意して、生徒とインタラクションしながら音声中心に導入する。

This is a famous soccer player. I like him.  
Do you like him ?

This is a popular Japanese singer. I like her.  
Do you like her ?

教師の世代のアイドルやアニメキャラクターなどのピクチャーカードも利用する。

This was a very popular anime character.  
Do you know him ?

②Drill Listen の場面ではピクチャーを生徒に見せながら口頭練習する。

A 教師：「『こちらは私の兄です。ぼくは兄が好きです。』と試してみよう。」

生徒：This is my brother. I like him.

教師：「ではCDで確認してみましょう。」

2. 本文理解

Mr Yoshida・Ms Brown のピクチャーカードを黒板に掲示して生徒と英語でインタラクションしながら音声中心に本文を紹介する。

(例) Do you know him ? Who is that man?

Is he a teacher? Is he a math teacher?

Who is this woman? Is she an English teacher? など

次にリスニングのポイントを示してCDを聞いて意味を確認する。リスニングのポイントは①ラージは吉田先生を知っていますか。②吉田先生は何の先生ですか。③ラージはブラウン先生を知っていますか。

3. 音読練習

①Chorus Reading ②Read & Look up ③Role reading ( Meiling / Raj のパートを教師と生徒それぞれ1回ずつ) ④Overlapping (テキストを見てCDと同時に読む) ⑤Shadowing など発展した音読にも取り組む。

4. アレンジ暗唱

ペアで本文をアレンジして暗唱させ、本文の暗唱・音読を宿題として次時に発表させる。

A: Who is that man? I don't know him.

B: He's Mr ( ), our( )teacher.

A: I see.

B: Do you know that woman?

A: Yes. I know her. She is Ms ( ).

B: Right.

2 時間目

1. 前時の復習

①Practice Listen

②Topic Talk 次のトピックについてペアで会話をして復習する。“Who is your favorite singer?”

A: Who is your favorite singer ?

B: I like ( ). Do you like him(her)?

A: Yes, I do. ( No, I don't.)

2. Reading 音読の復習・アレンジ暗唱の発表。

Chorus Reading などの音読練習をした後、ペアごとにアレンジ暗唱を発表させる。生徒全員に次時までの宿題を配布しておく。

3. Word Corner p.59

①フラッシュカードで目的語として使われる代名詞を口頭練習する。

②教科書 p.59 主語と目的語をそれぞれ線で結ぶ。

③グループ(4人)ごとにカードを配布し主語と目的語をマッチングさせる「神経衰弱」をする。

※最後に

1. 授業開始時，帯学習として，  
Topic 1 What did you do yesterday ?  
Topic 2 What are you going to do this weekend?  
Topic 3 Where do you want to go ?  
などペア（グループ）で活動させてもよい。
2. ターゲットセンテンスを導入する際，映画のワンシーンや手作りビデオキットを利用したりすると生徒の注意を引きつけやすい。授業者の視点で臨機応変に活動を精選して，手作り感満載でオリジナリティのある工夫こそがより生徒を惹きつけると思う。